

中田かわら版 12月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■ 中田寄席と雷門助六師匠 (68歳)

九代目雷門助六師匠が芸歴50年を迎えてなお、綽綽（しゃくしゃく）と高座を務めている。9月6日、今ではすっかりお馴染みになった「中田寄席」（中田町会館）も今回で22回。主催しているのが「中田助六会」（望月 榮会長）だ。地元の有志が師匠の良き理解者となり会を支えている。それに地元民の応援もあり毎回150人を超え会場はいつも満席。そのはず、師匠は中田小学校、中和田中学校の卒業生なのだ。師匠が登場すると一段と高い拍手がわく。人気者は衰え知らずだ。師匠がマクラで（前おきの話）喋る。「最近忘れっぽくなりましてね」、すかさず会場から「年だよ」とヤジが飛ぶ。師匠は頭を抱えながら「あれは同級生なんですよ、やりづらいですね、ハハハハ」。会場は爆笑。



会場をわかせる雷門助六師匠

初高座は昭和40年5月、池袋演芸場。真打昇進は昭和56年10月、従って真打になって今年で34年になる。この日の演目は桂たか治と助六師匠の落語、その間に三増紋之助の「曲独楽」があり、日本古来の独楽芸で楽しませてくれた。トリを務めた師匠の「粗忽者」はさすが話術が冴え笑わせた。お家芸「操り人形」も天下一品、見どころは脚の動きはまさに芸術的だった。高座がはねてから後援者と助六師匠らと話をする機会があった。助六師匠は気さくで茶目っ気もあり、芸人の気風が漂っていた。笑った顔が何とも言えず良かった。中田寄席の客につ

いて尋ねた。「最初の頃は70人くらいしかいなくて3、4年で消えるかと思いましたが、でもこうして11年も続いている。嬉しいですね。遣り甲斐を持ってやっていますよ」。助六師匠の芸と人柄を愛する中田寄席が「この先50回、100回って続いていくでしょう。そのころ私たちは生きているか、どうか知りませんがね」。誰かが言っていたが、場内は大笑い。



第22回中田寄席（平成27年9月）

和気藹藹の2時間、十分楽しんだ寄席であった。

なお同寄席は年2回行われ23回は来年3月13日、中田町会館で行われる。素晴らしい舞台の整った会場にぜひ足を運び、名人芸を味わってほしい。

（宮田貞夫）

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

1月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

第39回 中田新春健康マラソン大会

日時：平成28年1月17日（日）雨天中止

開会式 9:30 スタート 2.5 km 10:00 5 km 10:20

場所：中田小学校校庭（スタート及びゴール）

申し込み方法：往復はがき（本人負担）による事前申込制（当日の申し込みはできません）※12月22日必着

表彰：種目ごとに表彰します。また参加者全員に参加賞、その他特別賞など多数あります。

参加費：中田連合地区在住者以外は1,000円（但し中学生以下は無料）

※安全を考慮し参加者を2.5 km、5 km合わせて600名とします。

お問い合わせは、各自治会・町内会の体育部長まで。

申し込み方法及びコース図等の資料「中田新春健康マラソン大会 開催要項と申込方法」については、立場地区センター、中田コミュニティハウス、葛野コミュニティハウスに12月1日から置いてあります。



■ 富士見丘自治会

「お手伝いクラブ」の活動紹介

1. 発足の経緯

平成24年2月、一人の民生委員から「一人暮らしの高齢者を見守りで訪問した際、電球の交換や水道の漏水修理等、簡単な作業の相談や依頼をされる。自治会として、この種の作業に対応し高齢者を支援する活動ができないだろうか」と、提案がありました。富士見丘自治会は高齢者世帯の割合が高く、この種の困りごとが今後も増加するだろうと考え、この提案に対して、早速実現させる動きをとることにしました。

同年4月、名称を「お手伝いクラブ」としお手伝いの対象を一人暮らし世帯、65歳以上の高齢者世帯、障害者世帯としました。活動当初は、自治会役員で構成するボランティア団体として位置づけ、代表1名、コーディネーター2名、会計1名を含む16名でした。

利用料はボランティア1人・1時間当たり200円を頂くこととしました。老人会や高齢者の会合や回覧板・掲示板上でクラブ発足をお知らせしましたが、7月になってやっと第1号の申込みがあり、通学路にはみ出している植木の剪定作業を行いました。結局1年目は7件の申込みで終わりました。

2. 活動状況

その後PRも行き届き、口コミ等もあって申込みは増加しています。2年目39件、3年目、53件、今年には既に46件を受け付けています。依頼は全て事前訪問をして状況を確認の上、作業日を決めています。作業は、自治会のユニフォームを身に着け、午前中2時間を目途としています。依頼者は一人暮らしの方が60%、高齢者世帯が20%です。依頼内容では草取り・剪定が65%、物品異動、電気修理、家財修理が各々10%になっています。

3. 今後に向けて

ボランティアの皆さんに報酬はありませんが、利用者の皆さまからの感謝の言葉を励みに頑張っています。今後は新しいボランティアを迎え、自治会内に定着できるよう、またご利用者・ボランティア相互の触れ合いを楽しみとして進めていきます。

（寄稿 富士見丘自治会 事務局長 三澤 俊夫 氏）



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！